

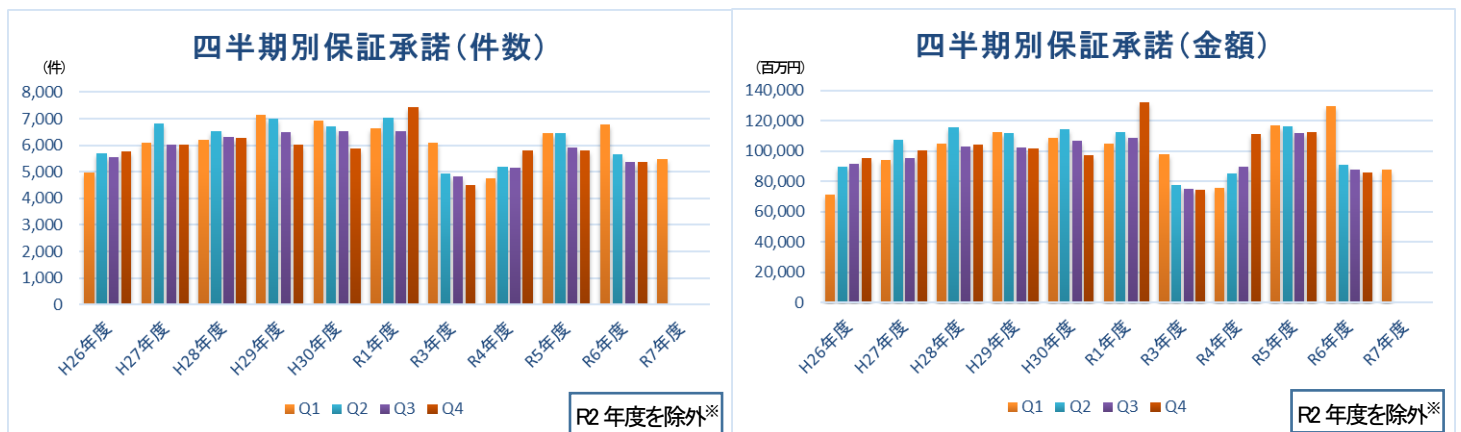
信用保証トピックス (令和7年7月)

令和7年度第1四半期の状況について

■ 保証の状況

① 保証承諾の状況

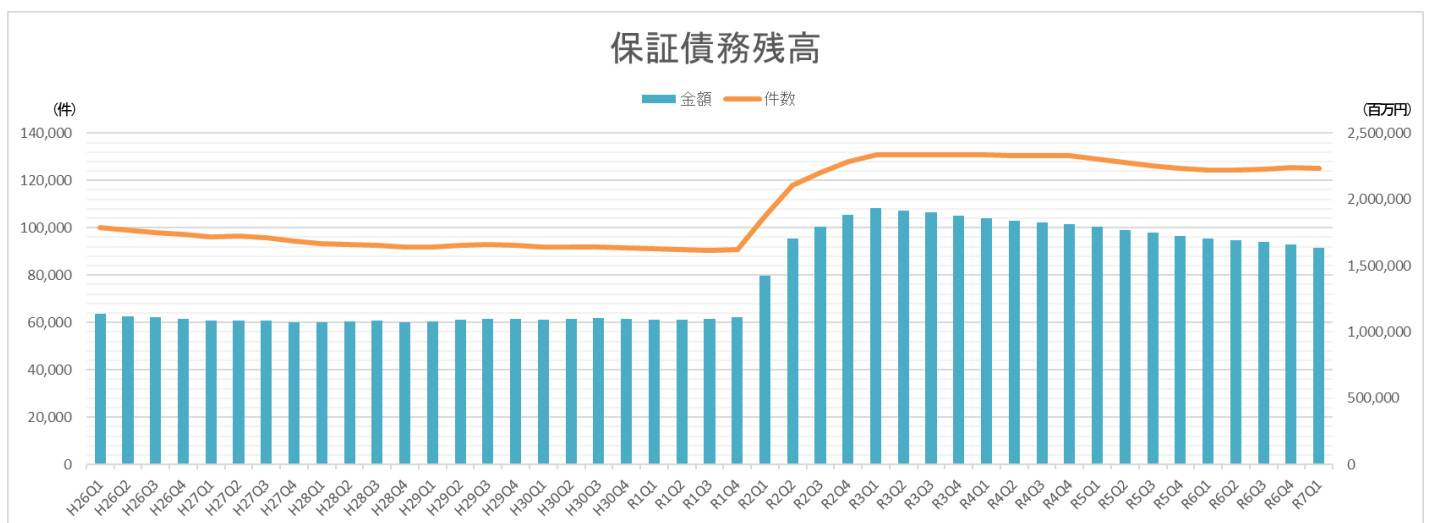
- 第1四半期の保証承諾は、5,476件（前年同期比80.6%）、880億円（同67.8%）となりました。
- 令和6年度第1四半期は、国による保証料補助（一部）が受けられる「伴走支援型特別保証制度」（令和6年6月末申込受付をもって当協会の取扱終了）の「駆け込み申込」の増加があり、前年同期比では大幅な減少となりましたが、令和6年度第2四半期以降と概ね同水準で推移しています。



※ゼロゼロ融資が大規模実施された令和2年度を除外

② 保証債務残高の状況

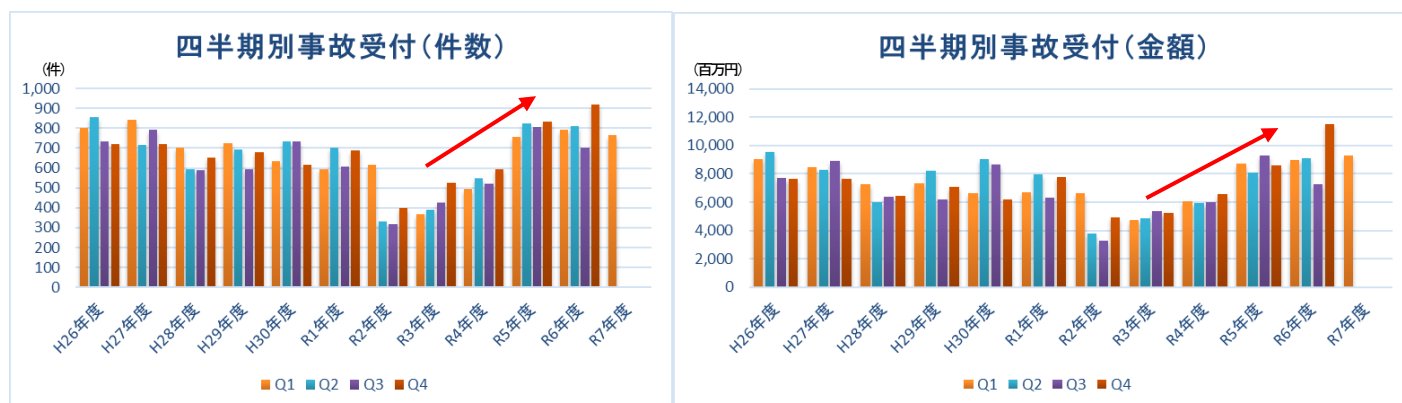
- ゼロゼロ融資の返済本格化により償還が増加していることなどから、保証債務残高は引き続き減少傾向で推移しました（6月末残高：125,204件（前年同期比100.7%）、1兆6,354億円（同95.9%））。



■ 事故・代位弁済の状況

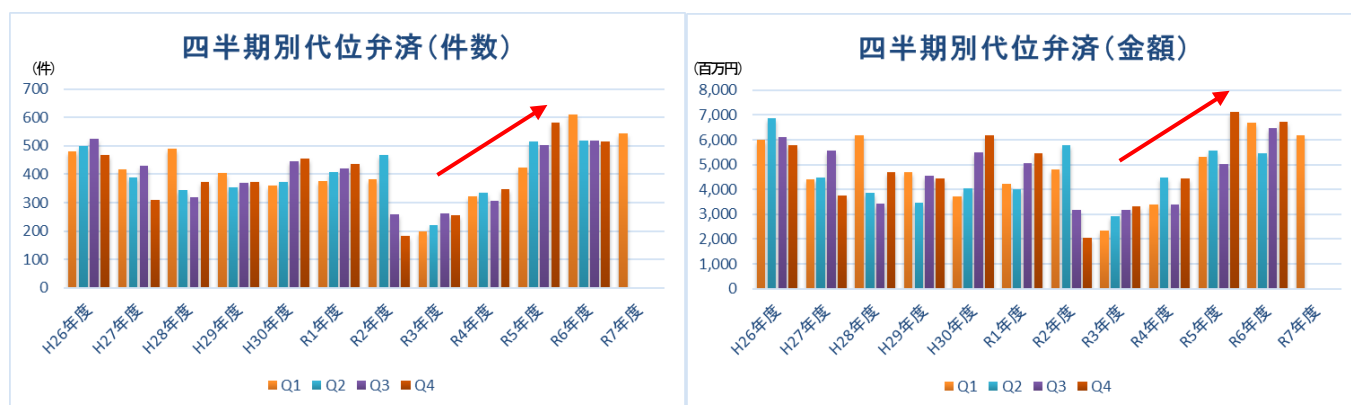
① 事故報告の受付状況

- 昨年度の事故報告受付金額は、前年同期比 106.1%と増加しました。今年度も、ゼロゼロ融資等による過剰債務や原材料価格の高騰、人手不足の深刻化等を背景として依然増加傾向が続いており、第1四半期の事故報告受付金額は、93 億円（前年同期比 103.3%）となりました。



② 代位弁済の状況

- 第1四半期の代位弁済は、543 件（前年同期比 88.7%）、62 億円（同 92.5%）と前年同期比で減少しました。
- しかしながら、事故報告残高が増加傾向にあることから、今後も動向を注視していく必要があると考えています。



■ 今後の見通しと当協会の取組

経済環境は、「大阪・関西万博」開幕によるインバウンド需要などにより景況感は持ち直しの動きが一部で見られるものの、原材料価格の高騰や人手不足の深刻化に加え、米国の関税措置など事業者を取り巻く環境は不透明感が増しており、事故報告・代位弁済は増加傾向で推移していく見込みです。

このような中、当協会では、資金繰り支援にとどまらない、一歩先を見据えた早期の経営支援に取り組むため、金融機関や関係機関と緊密に連携し、事業者寄り添いながら、以下の項目を重点的に実施し、積極的に事業者支援に取り組めます。

- 保証時の実地調査と保証後のモニタリングによる「対話型支援」を推進し、事業の継続、発展に向けた事業者の取組を後押しします。
- 協会が主体となった「フォローアップ型」経営支援を推進し、事業者の経営課題や状況の変化の兆候の把握と課題の解決提案に努めます。

